

文源  
活  
卷  
記

圖書院  
式  
地



題源氏插花卷首

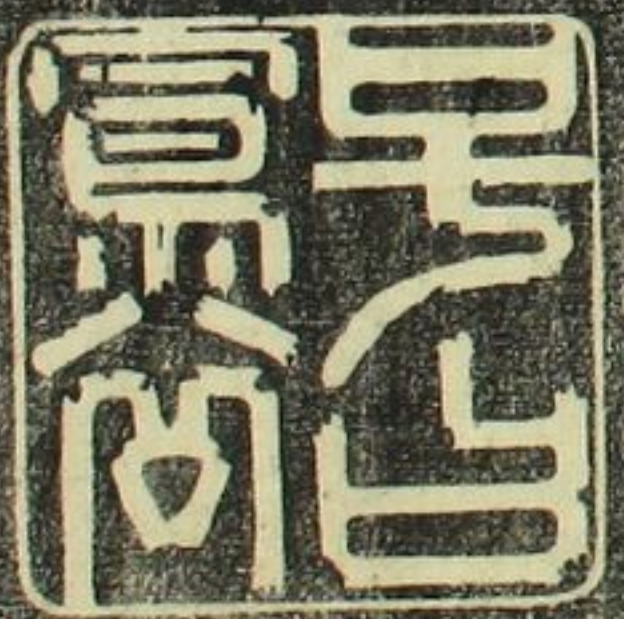
伊昔东山风雅在

瓊葩绣蕊春秋



休論屈折枝條事  
屢見挿莖為自由  
太應法橋子系能卜  
之求

國子祭酒孫子系



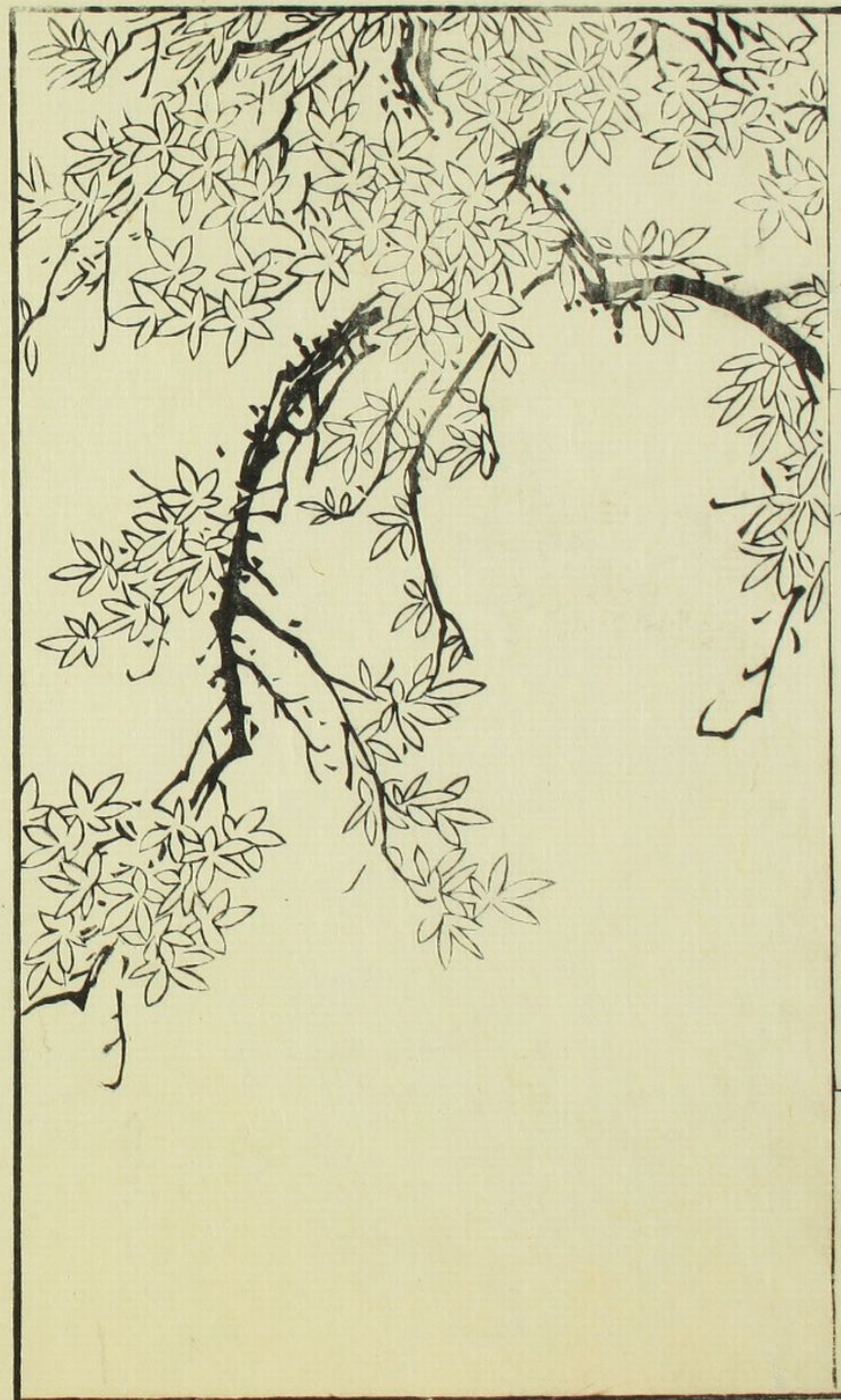
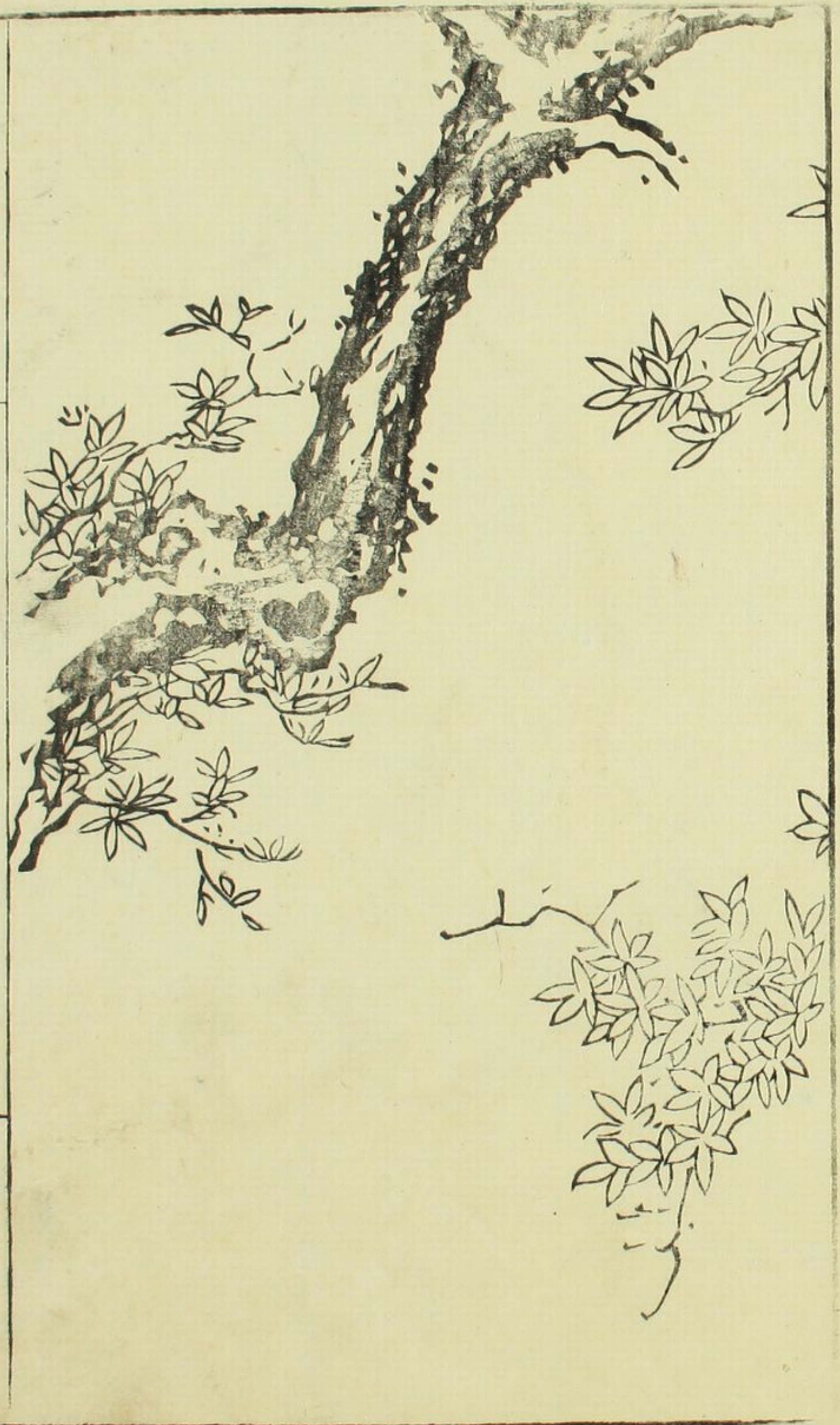
世目三也  
人刀四也

# 中種花生圖

深川 親和 篆





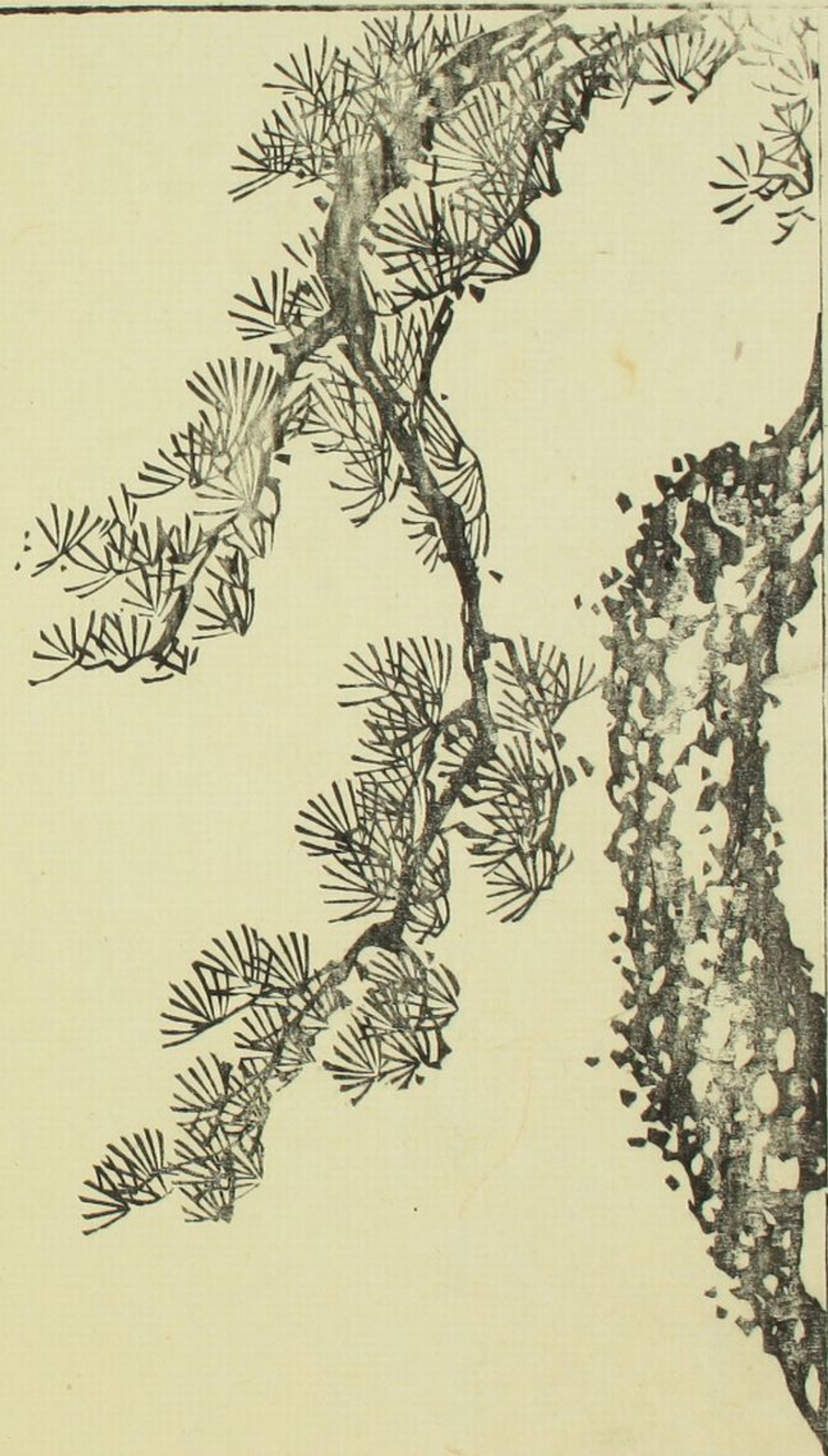


古松巴



六

海峽中



八

芭蕉



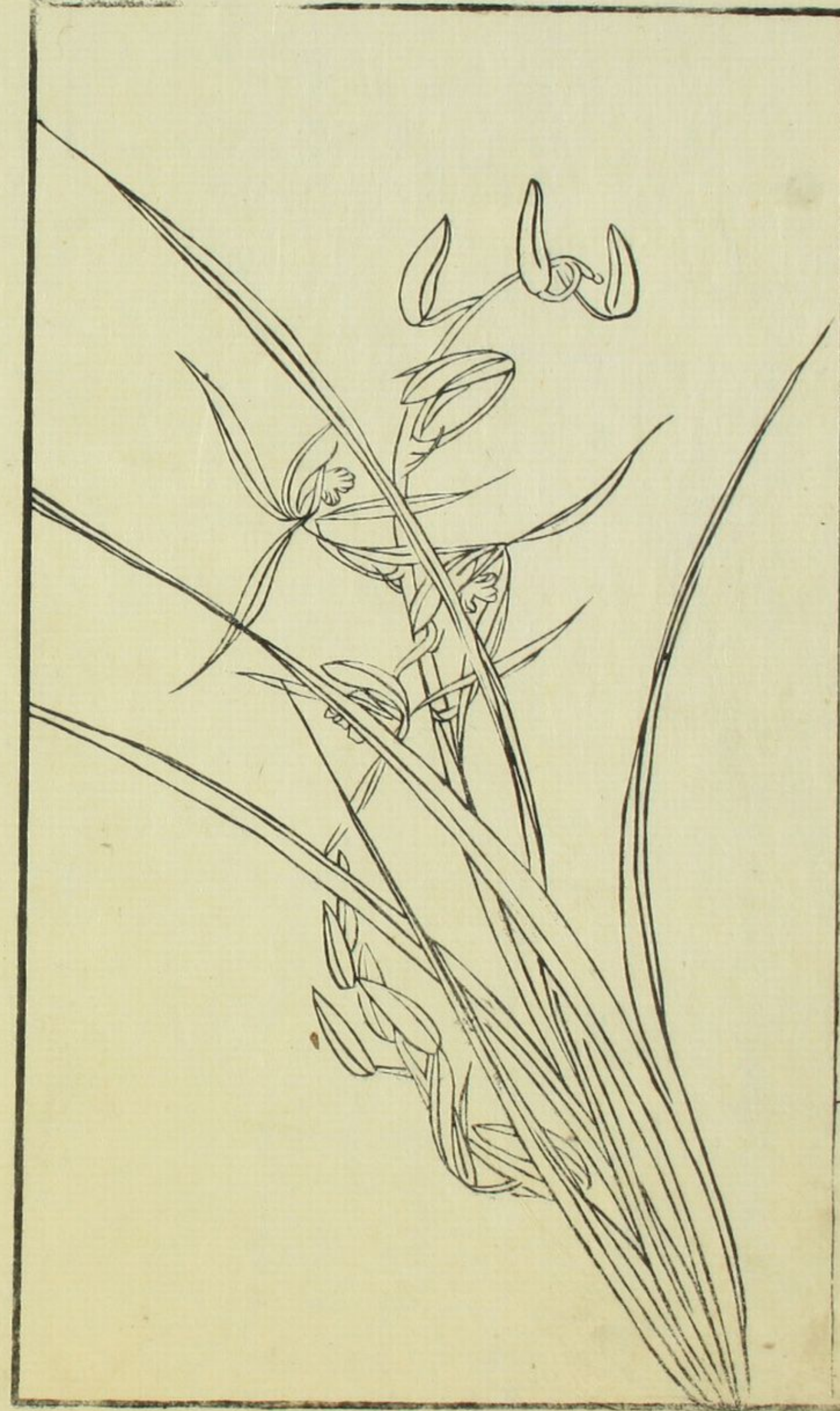
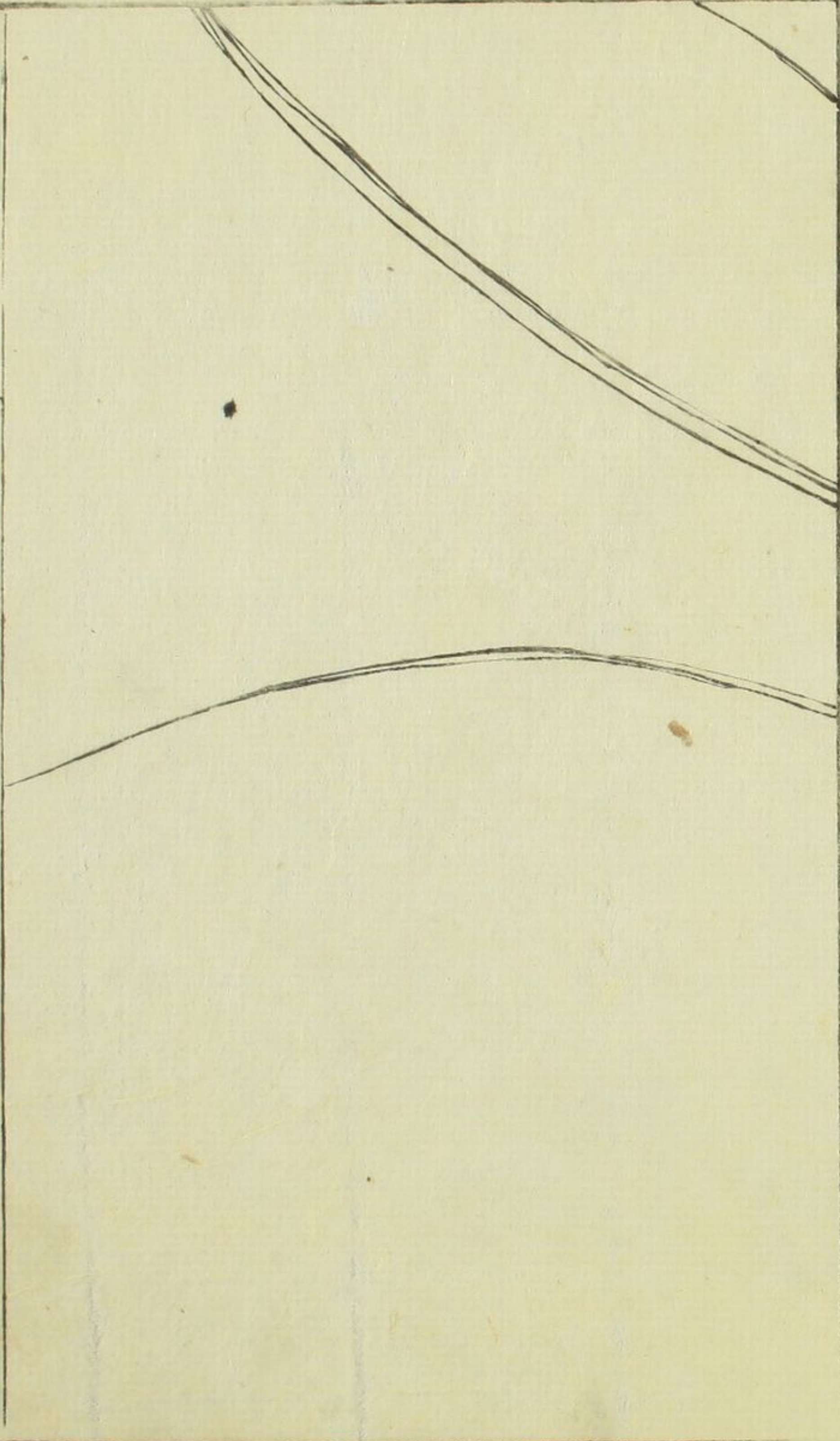
三

海潮詩 中之卷



四

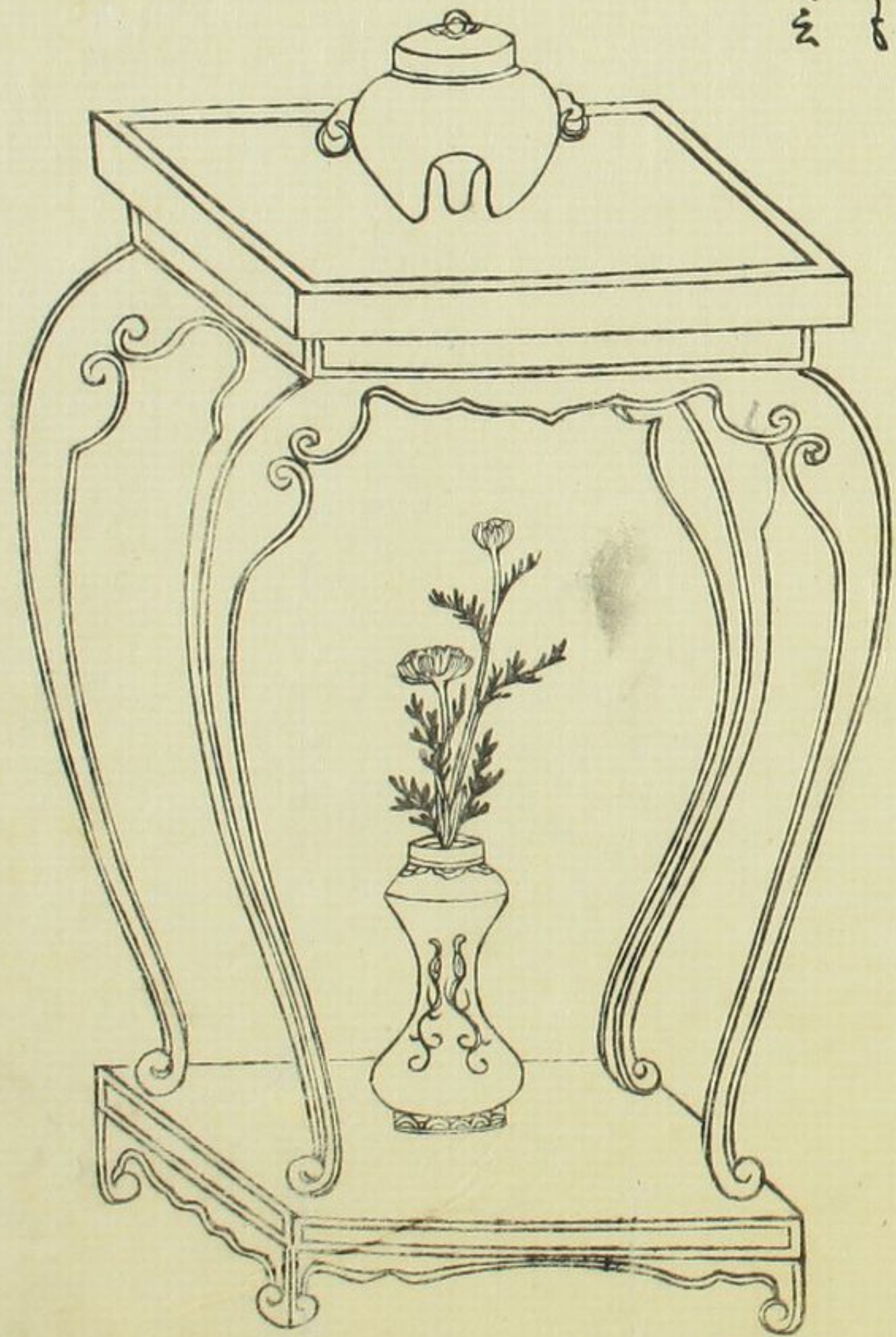




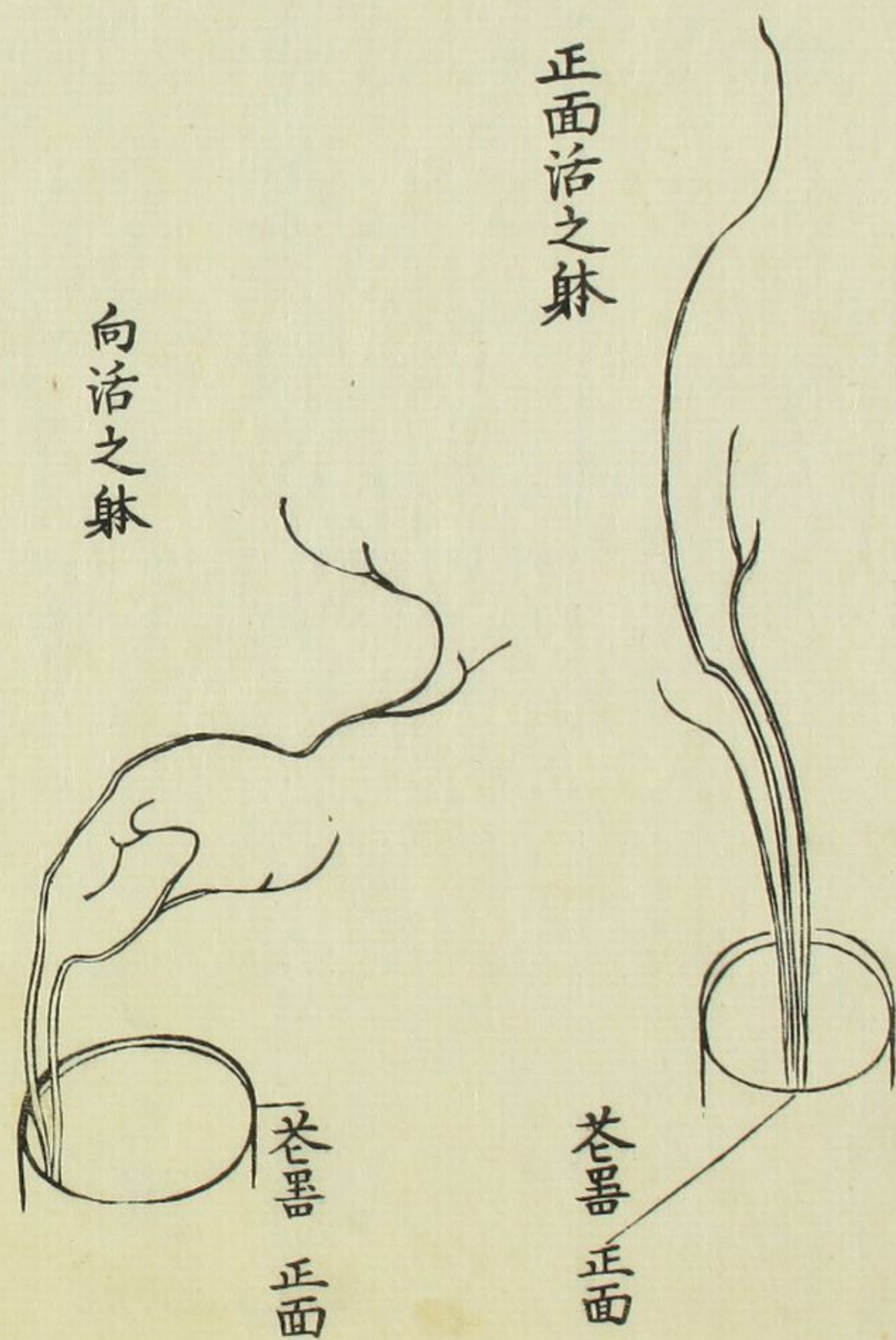


右小書一六種ハ生花ハ秘傳常に秘傳もせげのゆえ  
 出生一ハ海をとりとあハすあり様と紅葉ハ春秋の  
 司家日ハよてハむとハを採り松と竹とハ夏冬の間ハて  
 陰陽ハ差別いける習あり藜藿と葉とハ冬冬の中  
 よてハ実の可なり中ハも様ハ源氏五十四の白六種  
 ノ秘傳のしられ葉を冬を秋中の秘傳なり於て源氏の秘傳  
 規矩の花ハ実形ハ秋冬ハ一様なり四季皆ハ咲く  
 正花よりハ必ず秘傳花ハ秋ありと知り多量とハかきと  
 ころハ花ハ出生とハ一とていける肝あり松竹と





元日草  
福壽草  
報春草



向活之鉢

正面活之鉢

老罍 正面

老罍 正面



牡丹  
紫菀花  
菖蒲花  
兒吉花

柳梅簞





牡丹花  
一花二枝之文曰重五實六葉  
七葩八葉九本たり



鉄線花  
風車に似たり纏枝牡丹と  
よみ重なりたる葩八かり

化掬草  
一名山礮石  
海老根草也

秋海棠  
爛腸草  
舊傳為



正面

莞  
河龍  
壯若

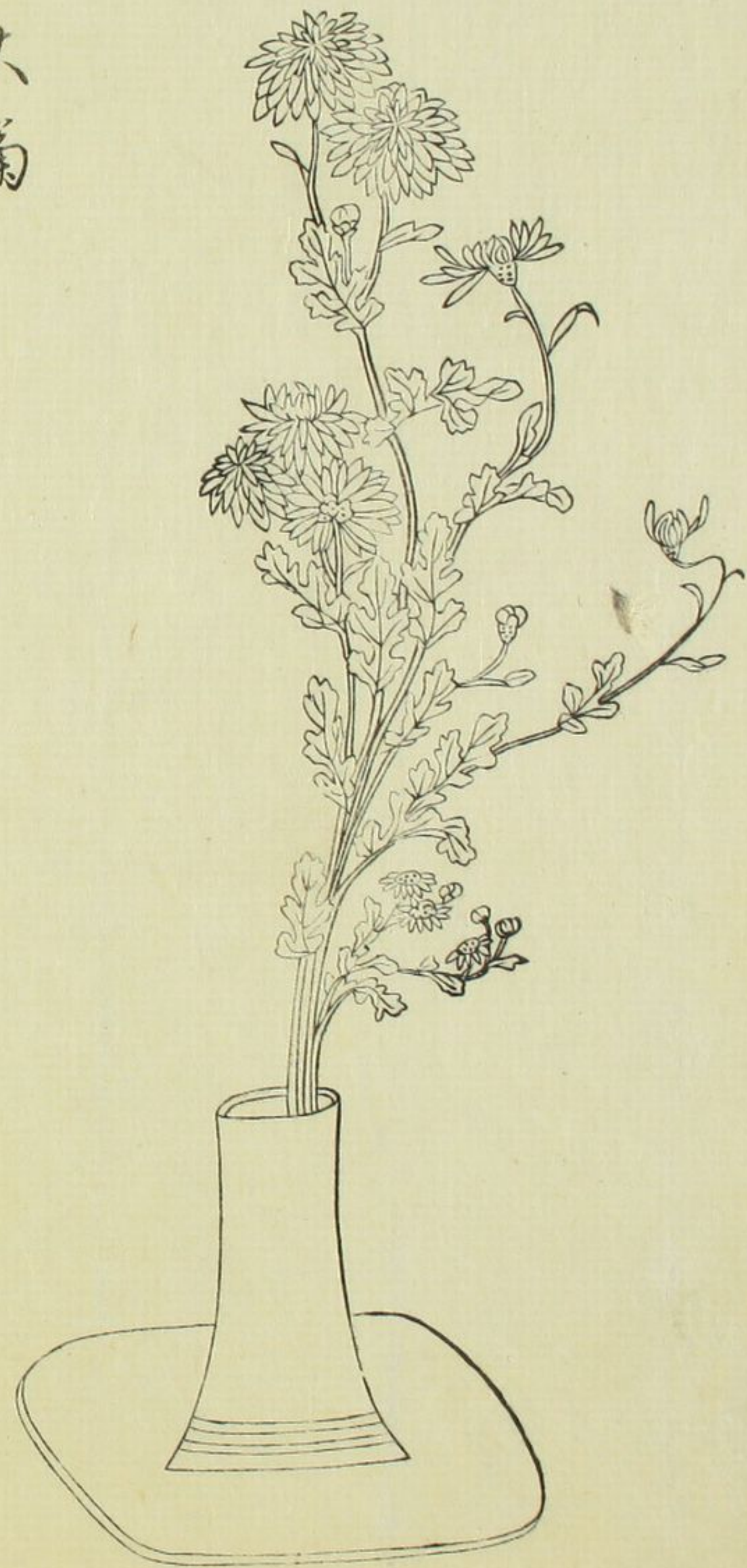




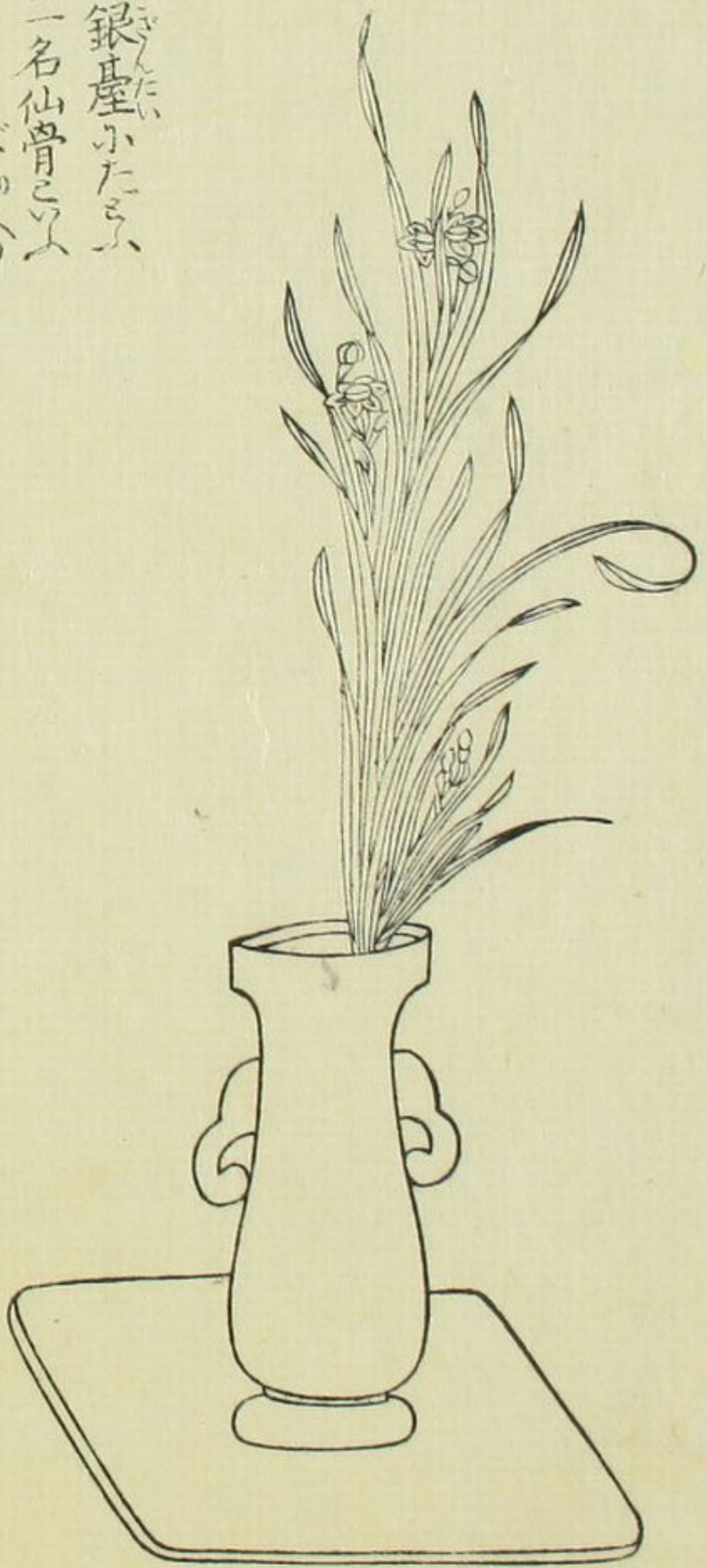
水仙  
南燭  
蘭天竹

南天五月中旬に白花と紫花とむすぶ花とありて通ゆる其青中秋黄冬  
去紅赤又夏中白明年に白く黒色あり竹木益史曰南燭ハ草木通用の如竹  
とひら極よ竹の名あり南てと不洋な拂ふりてんり

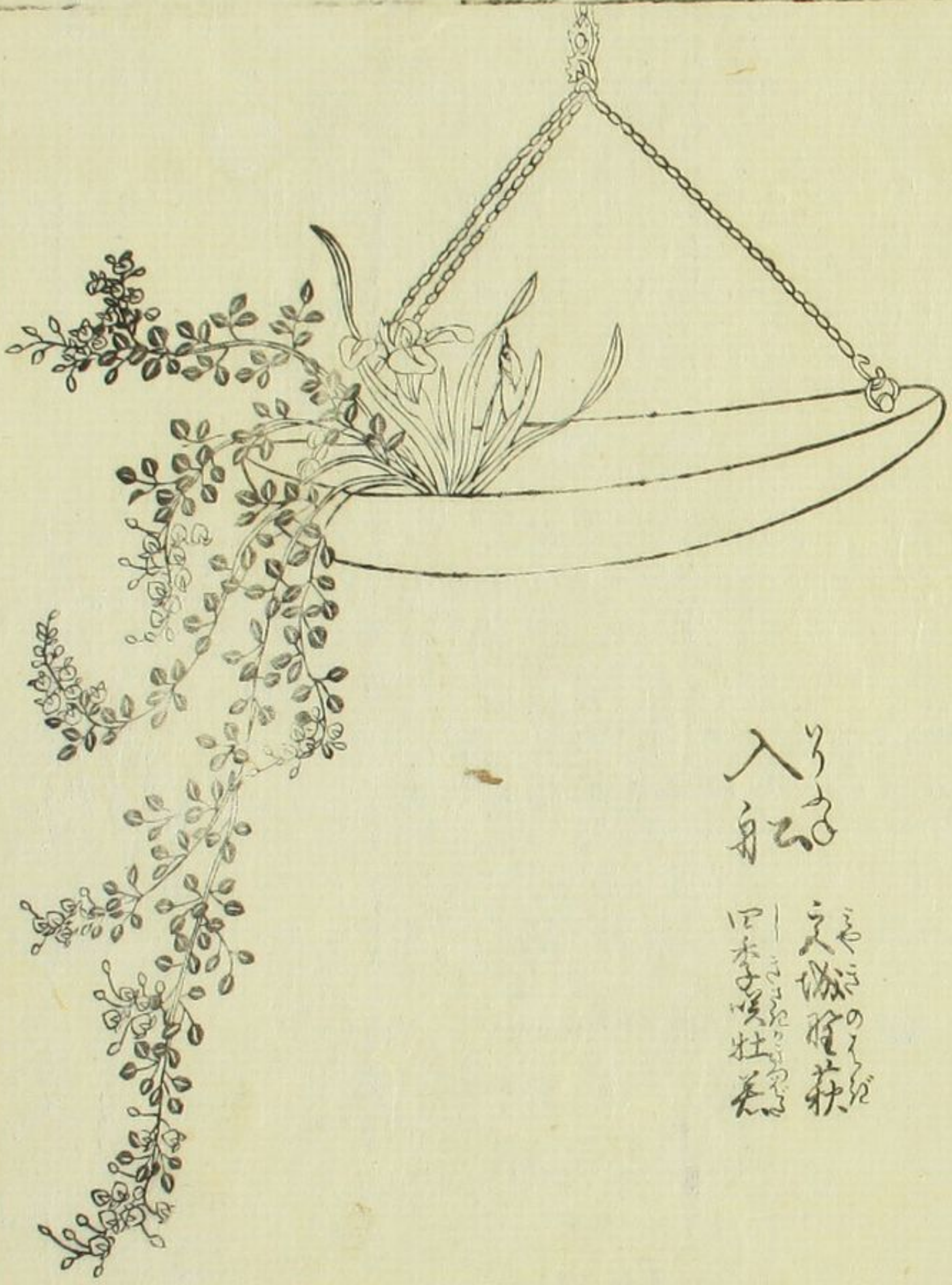
大菊  
小菊





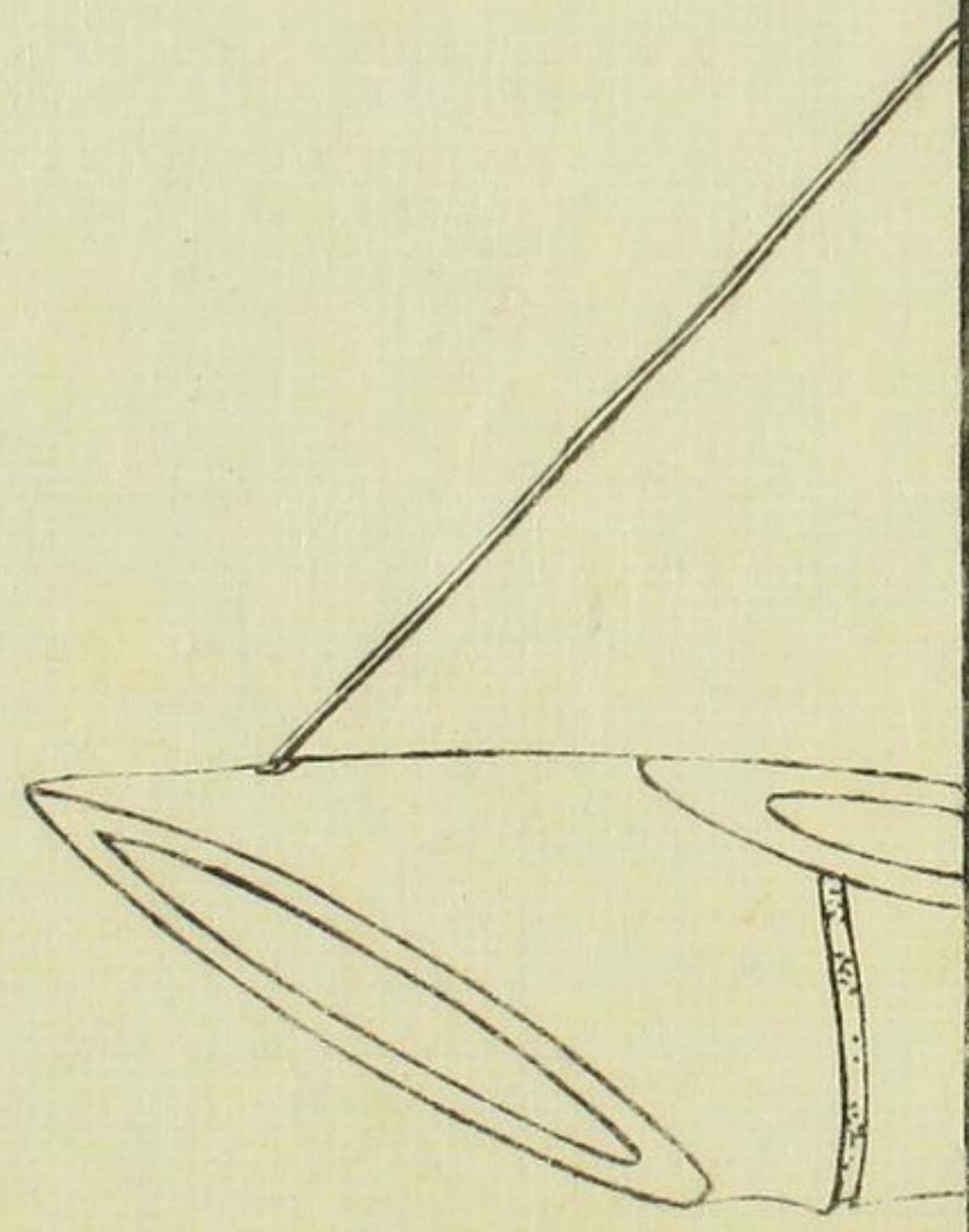


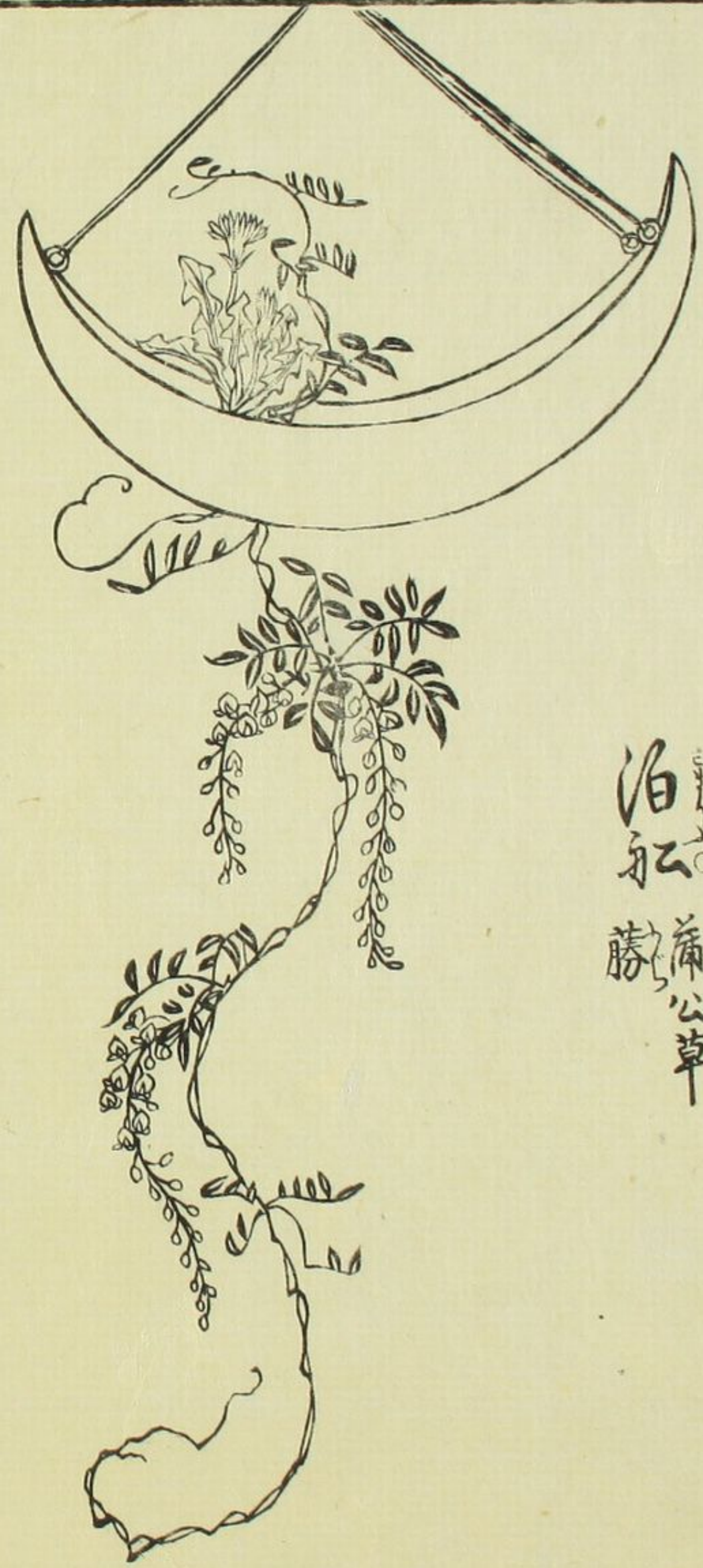
水仙花  
すいせんか  
金蓋銀塵きんがいぎんじんふたふた  
山谷やまや曰一名仙骨せんこつこよ  
凡花ぼんかよわし仙骨せんこつの  
骨象こつざうあるあり  
故ゆゑにせんこつといふ



入舟  
いりふね  
文政ぶんせいのころ  
日本にっぽんを以もつて  
美み

出  
紅  
柳  
紅  
仙  
梅





泊弘  
勝少蒲公草

桃花



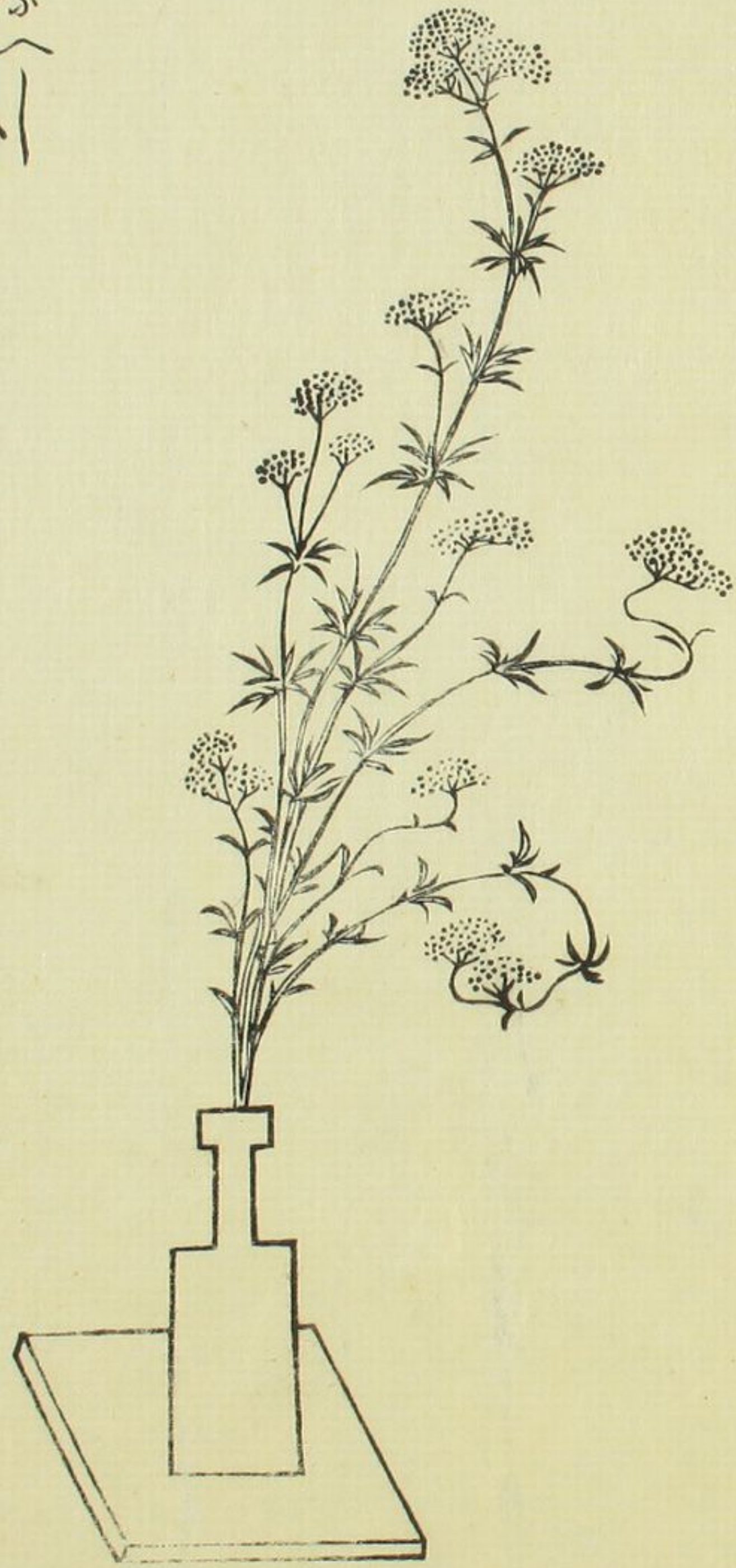


蒲  
水葵  
浮菖



木賊  
松本旁  
仙翁花  
芳秋羅  
红花

女<sup>おんな</sup>帝<sup>みかど</sup>薔<sup>ばら</sup>臺<sup>だい</sup>



古<sup>ふる</sup>鏡<sup>かがみ</sup>巳<sup>み</sup>中<sup>ちゆう</sup>卷<sup>まき</sup>

三<sup>さん</sup>十<sup>じゅう</sup>

椿<sup>つばき</sup>河<sup>か</sup>柳<sup>やなぎ</sup>之<sup>の</sup>二<sup>に</sup>種<sup>しゆ</sup>



海<sup>うみ</sup>木<sup>き</sup>言<sup>ことば</sup>口<sup>くち</sup>巻<sup>まき</sup>

三<sup>さん</sup>十<sup>じゅう</sup>

龍膽



古花記 中卷

九一

紫雲英



古花記 中卷

三



橋<sup>い</sup>  
扇<sup>い</sup>  
一名射干  
い  
い  
い

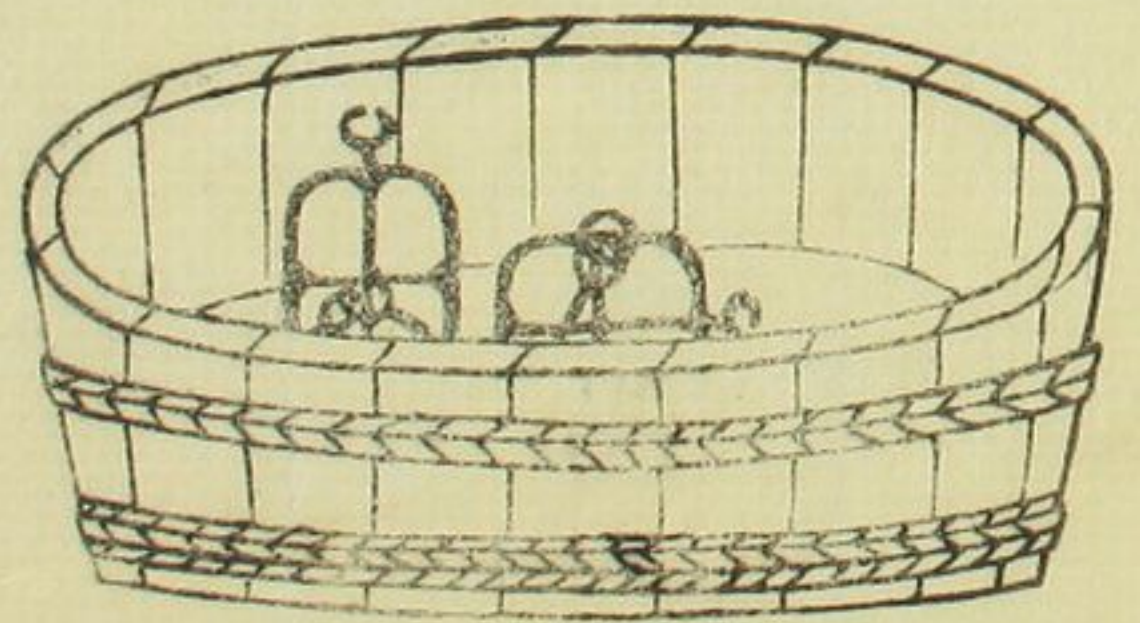


羨<sup>い</sup>  
揚<sup>い</sup>  
草<sup>い</sup>  
一名金糸桃<sup>い</sup>



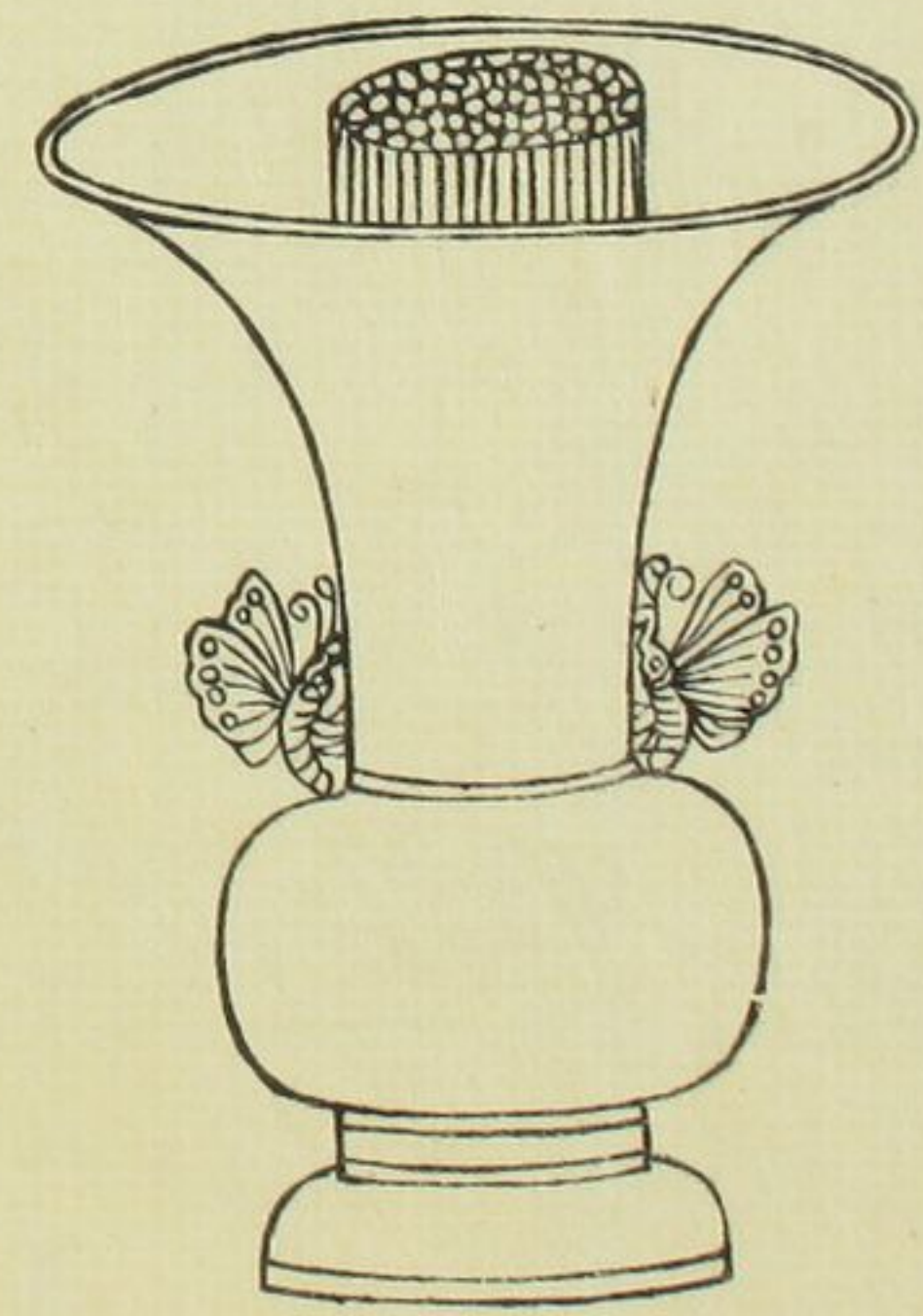
活溜いけたけ  
 萩 菊 落  
 牡丹 芙蓉 林海棠  
 桔梗 燕麥 女紅草

馬うま盛さか禮らいしものく 矢や六む我が宮みやの内うち所ところ中ちゆう  
 小こてて礼らいといけ敬けい人に花はなををささままババ有あ合あ  
 たるるのたたいいよよくくつつとと入いむむととめめも  
 冠かんををすす清せい浄じやうなる花はなををささままののたたいいと  
 名な付つてて公こう書しよ院いんのの花はな小こ用よう持ぢりりいいちちをを  
 いたいたすすいいくくつつのの花はなとといいくくつつのの花はな  
 細こくくつつのの花はなとといいくくつつのの花はな  
 伝でん要えいとといいくくつつのの花はな





如世花籠ハ之花乃瓶あり  
生花ハ用ひす也しるふ  
口御し紙をさかあし隙をす  
くくわし源氏を海の  
阿らにハ花籠ハ



三丹

唐紙

